

研究公開文書

2020年 7月21日

研 究 名	慢性心不全患者のフレイル実態調査
研 究 の 概 要	<p>近年、高齢心不全患者さんの再入院や予後に関わる要因としてフレイル（虚弱）が関連することが明らかになってきました。心不全で入院された後、身体機能がどの程度回復したか、を調査することは高齢心不全患者さんの予後の改善のためにも重要なデータとなります。下記の3点を当面の目標とし、研究を実施いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 循環器理学療法を受ける心不全患者のフレイル有病率を明らかにする 2. 入院前の身体機能まで回復しないまま退院する心不全患者の割合を明らかにする 3. 高齢心不全患者の予後とその関連因子を調査する
研 究 対 象	<p>本研究の対象となる患者さんは、西暦2020年〇月〇日（倫理委員会承認日）から西暦2022年3月31日の間に、リハビリテーション科で理学療法を受けた65歳以上の心不全の患者さんです。</p>
使用させていただく診療データ	<ol style="list-style-type: none"> ①患者さんの基本情報：年齢、性別、身体計測、介護保険認定など ②医学的情報：診断名、既往歴、心臓超音波検査（LVEF, LAD）、血液データ、治療方法、治療経過など ③理学療法評価：入院前の生活機能、入院中の身体機能評価、日常生活動作、フレイルの有無（日本版Cardiovascular Health Study Index）など ④予後・退院先：転帰先、死亡の有無と生存日数、死因、再入院・再発の有無と日時（心血管疾患およびその他の原因）、在院日数など

個人情報 の取 扱 いと倫 理 的 事 項	<p>本研究に関するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言および人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2014年12月22日）に従って本研究を実施します。</p> <p>患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れたうえで使用します。また、研究成果を学会や学術論文で発表しますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。</p>
研究責任者	リハビリテーション室 主任 小澤哲也
研究実施期間	研究実施期間：西暦2020年〇月〇日（倫理委員会承認日）～西暦2022年3月31日
連絡先	小田原市立病院リハビリテーション室 小澤哲也 小田原市久野46番地 小田原市立病院 0465-34-3175